

「日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)」は、河川再生に関わる事例・経験・活動・人材等を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい水辺再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に2006年11月に設立されました。また、日中韓を中心に活動する「アジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)」の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、同時に海外の素晴らしい取組みを日本国内に還元する役割を担います。

目次	Pages
➤ JRRN 事務局からのお知らせ.....	1
➤ 会員寄稿記事.....	4
➤ JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ.....	5
➤ 研究・事例紹介.....	6
➤ 会議・イベント案内.....	8
➤ 冊子・ビデオ等の紹介.....	8
➤ 会員募集中.....	9

巻頭書記

11月に開催するARRN/JRRN「第8回水辺・流域再生に関わる国際フォーラム」も1ヶ月を残すばかりとなりました。JRRN事務局も準備体制を強化するため、筑波大学大学院からのインターンシップ生を迎え、本格的に作業を進めております。

本号では、JRRN活動報告として、第8回JRRNミニ講座(8/31)の開催報告、ARRN/JRRN「第8回水辺・流域再生に関わる国際フォーラム」の開催案内な

どについて紹介しています。また、「水辺からのメッセージ No.29」としてプラハのヴルタヴァ(Vltava)川、ARRN編集による「アジアに適応した河川環境再生の手引き ver.2」更新作業の経過報告を提供しています。

ARRN/JRRN設立5周年に当たる国際フォーラムの開催を期待していただくとともに、現在、参加申し込みを受け付け中ですので、皆様方のご応募をお待ちしております。

JRRN 事務局からのお知らせ(1)

第8回 JRRN 河川環境ミニ講座『韓国と日本の魚道整備』開催報告

2011年8月31日(水)午前、JRRN主催「第8回JRRN河川環境ミニ講座」を開催しました。

- 講師：Jin-Hong Kim氏(韓国・中央大学校建設環境工学科教授)、小川豪司氏(財団法人リバーフロント整備センター研究員)
- 日時：平成23年8月31日(水) 10:00~12:00
- 場所：財団法人リバーフロント整備センター会議室
- 言語：日本語-韓国語 逐次通訳

講演では、韓国で現在実施中の全国魚道実態調査及びデータベース構築に関わる取組(研究予算:約1億3000万円)について金教授よりご講演頂き、続いて日本における魚道整備の歴史、タイプ、全国整備状況、及びその改善事例について豊富な写真とともに小川研究員よりご紹介頂きました。また講演後の質疑応答では、金教授を含む韓国からの魚道視察団8名、及び小川講師やJRRN会員との活発な意見交換が行われました。



金教授の講演



小川研究員の講演

なお、本行事の講演録は10月前半にJRRNホームページ上に掲載させていただきますので、参加できなかった皆様も講演録をご活用頂ければ幸いです。

■講演録掲載先(10月前半に公開予定):

<http://www.a-rr.net/jp/info/letter/publication/>

(JRRN事務局 和田彰)

JRRN 事務局からのお知らせ(2)

ARRN/JRRN 主催「第 8 回水辺・流域再生に関わる国際フォーラム」及び現地視察行事のご案内

(1) 国際フォーラムの開催

11月11日(金)にARRN/JRRN主催「第8回水辺・流域再生に関わる国際フォーラム」を開催致します。

このフォーラムは、日本、中国、韓国等をはじめとするアジア諸国及び欧米の河川に関わる技術者、学識経験者が集い、それぞれ国の河川・水辺を取り巻く社会情勢、先進的な河川・流域再生事例や技術の紹介、それぞれの国で抱える河川水辺環境再生の課題の紹介や意見公開に加えて、公開討論を行う場として平成17年より開催されているものです。

これまで、このフォーラムでは韓国ソウル市の清溪川再生事業や中国北京市の転河、アメリカ合衆国はフロリダ州のエヴァグレイズ等の先進的な世界の事例を国内に紹介してきました。

(2) 開催要領

ここ数年は韓国、中国において開催されてきました。今年度は東京にて以下のとおり開催いたします。

日時	2011年11月11日(金) 13:00~16:15 (開場: 12:30)
場所	東京大学農学部弥生講堂 (以下の地図を参照) (東京都文京区弥生 1-1-1)
参加費	無料参加費
定員	200名 (申込先着順)
通訳	日英同時通訳
主催	アジア河川・流域再生ネットワーク (ARRN) 日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN)



(3) プログラム

今年度は『減災と環境保全の視点から都市河川再生を考える』をテーマに日本、中国、韓国、台湾及び豪州の技術者、学識経験者が集い事例・技術の紹介と公開討論を予定しています。

国際フォーラムプログラム (一部変更の可能性あり)

13:00	開催挨拶
13:05	ARRN ガイドライン ver.2 の趣旨及び内容紹介
13:15	2011年洪水被害からの再生に向けた 官民連携の取組み ~ ブリスベン川の事例 Gavin Blakey (オーストラリア・メルボルン市技監) 台湾における最近の都市河川再生の取組み Shaohua Marko Hsu(台湾・逢甲大学教授) 韓国における水辺環境再生のための技術開発 ~連続ブロックシステムの事例から Sukhwan Jang (KRRN 事務局長/韓国大真大学教授) 北京市が取り組む都市河川と湿地の再生 Pengjie Gao(北京市水利規画設計研究院) 流域治水~樋井川からのイノベーション 島谷幸宏(九州大学大学院教授) 全体討議 (座長: 玉井信行 ARRN 会長)
16:15	閉会

(4) 参加申し込み

9月26日(月)より (JRRN 会員外の) 一般の方々への申込受付を開始しました。参加のお申込は以下のパンフレットより申し込み方法をご確認ください。

<http://www.a-rr.net/jp/info/letter/docs/ARRNJRRNforum2011.pdf>

JRRN 会員皆様はもちろんのこと、非会員の方々も含めまして、多数の参加をお待ち申し上げております。

(5) 現地見学会開催のお知らせ

国際フォーラムの翌日 (11月12日(土)) には、東京近郊の河川再生現場をフィールドに、海外招聘講師と現地で活躍する市民団体及び視察先河川管理者等を交えた現地見学会の開催を計画しております。

現地見学会にご興味のある方は、詳細を以下までお問い合わせ下さい。

Tel : 03-6228-3860 (現地視察担当: 伊藤将文)

(JRRN事務局 伊藤将文)

JRRN 事務局からのお知らせ(3)

河川再生に関わる 9 月開催行事への参加報告

秋は水辺での行事やシンポジウム、また学会総会等の諸行事が毎年多く開催されます。JRRN会員やJRRNと関わりの深い方々が主催する行事への参加報告とし

て、市民活動、学会活動、分野横断活動の三つをご紹介致します。様々に立場は異なりますが、川や水辺に対する熱い思いは共通であることを感じました。

■ 隅田川歴史・文化再発見ウォーキング



本行事は、隅田川起点（岩淵水門）から最終の勝鬨橋まで約28kmを、沿川の歴史・文化や観光スポットに触れながら歩くもので、主催団体である「隅田川市民交流実行委員会」（JRRN 会員）の設立 25 周年記念行事として開催され、多数の健脚が参加しました。川と地域を知るには、まずはじっくり歩くことが大切です。

(9 月 10 日開催)

■ 応用生態工学会 第 15 回金沢大会



応用生態工学会（JRRN 会員）主催の年次行事が金沢で開催され、本分野に関わる最新知見の学術・技術交流が行われました。また自由集会として開催された日韓セミナー「エコシステムアプローチによる河川・流域の自然復元」では JRRN 事務局からも発表を行い、関係者との交流を通じ、貴重なご意見を多数頂戴しました。

(9 月 14 日～17 日開催)

■ 第 4 回 いい川・いい川づくりワークショップ



本行事は、川の宝物に光を当て、いい川・いい川づくりとは何かを参加者全員で探る大会で、市民・行政・専門家等が活発に意見交換し、本年も実りある成果が得られました。本行事の詳細は、本レター来月号にて、学生ボランティアスタッフとして大会運営に携わった坂本さん(JRRN 会員)より詳しくご報告頂きます。

(9 月 24 日～25 日開催)

(JRRN 事務局 和田彰)

JRRN 事務局からのお知らせ(4)

JRRN 事務局にインターンシップ生が加わりました(金子拓哉さん・筑波大学大学院)

11月に開催するARRN/JRRN主催国際フォーラムの企画・準備・運営を中心に担当して頂くインターンシップ生が事務局に加わりましたのでご紹介します。

金子さんが研究やサークル活動で培った様々なご経験とそのバイタリティーをJRRNの活動に活かしながら、JRRNとして新たな取組みに挑戦できればと思います。



筑波大学大学院システム情報工学研究科構造エネルギー工学専攻 博士前期課程 1 年の金子拓哉です。大学では山地河川の瀬淵構造と茨城県内におけるアレチウリ対策について研究を行なっています。サークルでは、筑波山や周辺の自然を活かして、子どもたちに遊びを通じた自然教育を教えています。春には野草を使った染物、夏は大雨の中で 3 泊 4 日のサマーキャンプを行ないました。

どうぞよろしくお願いいたします。

水辺からのメッセージ No.29

国土文化研究所 特任研究員 岡村幸二 (JRRN 会員)

質の高い都市の水辺風景： プラハを流れるヴルタヴァ(Vltava)川の水辺空間に人と水鳥のコミュニケーション



撮影：2011年7月（チェコ共和国・プラハ市内）

- ◆夕陽のあたる川沿いの街並みは、プラハ旧市街で最も洗練された都市空間のひとつです。川面に近い高水敷には、大河ヴルタヴァ川と一体にゆったりとした時間が漂います。
- ◆水辺の風景を満喫できるように高水敷には邪魔ものがなく、街なかのプロムナードを歩く感覚となんら変わりません。防護柵や注意看板などがなく大変すっきりしています。

※国土文化研究所は、株式会社建設技術研究所のシンクタンク組織です。

■ JRRN 会員皆様からの寄稿記事を募集しています！

旅先で見かけた水辺の風景や思い、水辺再生に関わる様々な活動報告、また河川環境再生に役立つ技術等、JRRN 団体・個人会員皆様からの寄稿記事をお待ちしています。(JRRN 事務局)

JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ(2011年9月末までの提供分)

【JRRN 会員からの提供情報】

■『第9回 川の自然再生セミナー』(10/19開催)

(財)リバーフロント整備センターからの行事のご案内です。

- 主催：(財)リバーフロント整備センター
- 日時：2011年10月19日(水) 13:00~17:40
- 場所：月島社会教育会館

◆詳細は以下参照

<http://www.a-rr.net/jp/exchange/event/2907.html>



【JRRN 会員からの提供情報】

■『神田川サミット2011 in 新宿』(10/22開催)

JRRN 団体会員の「神田川ネットワーク」より紹介頂きました。

- ◆日時：10/22(土)
- ◆会場：神田川及び新宿区立戸塚地域センター
- ◆参加費：500円
- ◆事前申込不要

◆詳細は以下参照

<http://www.a-rr.net/jp/exchange/event/2915.html>



【JRRN 会員からの提供情報】

■ラオス・メコン川岸辺の街風景紹介

ベトナム在住の会員 DM さんより、ラオスにある世界遺産の街ルアンパバーンを抱えて流れるメコン川とその支流ナムカーン川の水辺写真を提供いただきました。魅力的な14枚の写真がご覧になれます。



◆詳細は以下参照

<http://www.a-rr.net/jp/exchange/news/2886.html>

【JRRN 会員からの提供情報】

■「河川文化を語る会」

JRRN 団体会員である公益社団法人日本河川協会から河川文化を語る会のご案内です。

【第160回】

- ◆テーマ：『「方丈記」に見る災害と川の風景-川を見つめる視線』
 - ◆講師：浅見和彦氏(成蹊大学文学部教授)
 - ◆日時：2011年10月20日(木) 18:00~20:00
 - ◆場所：弘済会館(東京都千代田区)
- <http://www.a-rr.net/jp/exchange/event/2826.html>

【第161回】

- ◆テーマ：「東日本大震災の復興と共生社会の実現」
 - ◆講師：室崎益輝氏(関西学院大学総合政策学部教授)
 - ◆日時：2011年11月22日(火) 18:30~20:30
 - ◆場所：エル・おおさか(大阪府立労働センター)
- <http://www.a-rr.net/jp/exchange/event/2908.html>

【海外からの情報提供】

■「ECRR(ヨーロッパ河川再生センター)の最新ニュースレター」案内

ECRR(ヨーロッパ河川再生センター)の最新ニュースレター(2011年8月号)をECRR事務局より送付頂きました。主な目次は以下の通りです。

- ・ECRR等主催セミナー『河川・水圏生態系再生の目標設定と解決』案内
- ・クロアチア河川再生事業「MEANDERプロジェクト」紹介
- ・スペイン河川再生センターによる「河川再生オンライン研修」案内
- ・ドイツ Emscher 地域における河川再生事例紹介
- ・欧州河川再生関連の行事や河川再生情報事業(LIFE+)の紹介
- ・ECRR年次総会論文集のロシア語版翻訳完成案内

◆詳細はこちら：

<http://www.a-rr.net/jp/exchange/news/2890.html>



2011河川受賞速報

研究・事例紹介(1)

国内外の河川再生活動の受賞ニュース紹介

国際河川賞 2011 (2011年9月27日発表) : アメリカ・チャールズ川

海外の優れた河川再生の取り組みを表彰する国際河川賞(International Riverprize)発表が2011年9月27日(火)にオーストラリア・ブリスベンにて行われ、本年はアメリカのCharles Riverがグランプリを獲得しました。

2010年受賞の英国テムズ川同様、約半世紀にわたる産学官民一体となった河川再生活動が評価されました。(賞金 2,600万円)

■詳細(英語):

<http://www.crwa.org/events/RiverPrize.html>



オーストラリア河川大賞 2011 (2011年9月27日発表) : サンシャイン・コースト 沿岸河川

オーストラリア国内の優れた河川再生活動表彰する河川大賞(National Riverprize)の発表が上記国際河川賞の発表と同時に行われ、本年はクインズランド州東海岸のSunshine Coastの河川群をフィールドに活動するSunshine Coast Rivers Initiative チームがグランプリを獲得しました。

科学に根ざした活動、明確な計画と戦略設定、パートナーシップ、教育と普及、現地に根ざした取組等を評価されました。(賞金 1,500万円)

■詳細(英語):

<http://www.sunshinecoast.qld.gov.au/sitePage.cfm?code=rivers-initiative>



第4回いい川・いい川づくりワークショップ (2011年9月25日発表) : 芥川(大阪府)

本年のいい川・いい川づくりワークショップグランプリには、大阪府高槻市を流れる淀川水系芥川をフィールドに活動する「芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク」が選ばれました。1970年代の悪化した水質も、現在は子供達が泳ぎ、またアユが遡上する川へと再生し、官民共同の環境改善に向けた実践活動が評価され見事グランプリに輝きました。

■詳細(全国水環境交流会ホームページ):

<http://www.mizukan.or.jp/kawanohi/kawanohi.htm>



第10回韓国川の日蔚山大会 (2011年8月18日発表) : 韓国・水谷(スゴック)川

日本のいい川・いい川ワークショップと同様に、韓国においても7月7日の「川の日」を記念した市民実行委員会主催の「川の日大会」が開催されており、本年は光州市を流れる水谷(スゴック)川を拠点に活動する「スゴック川生態復元のための母親グループ」がグランプリを獲得しました。

なお受賞団体は上記の第4回いい川・いい川づくりワークショップにも参加し、活動内容を発表されていました。

■詳細(全国水環境交流会ホームページ):

<http://www.mizukan.or.jp/kawanohi/kawanohi.htm>



韓国川の日大会の様子

研究・事例紹介(2)

ARRN 版「アジアに適應した河川環境再生の手引き ver.2」更新活動の進捗報告

11月11日(金)に開催予定としている『第8回水辺・流域再生に関わる国際フォーラム』での配布を目標に、現在、各RRNの技術委員の指導のもと「アジアに適應した河川環境再生の手引きver.2(以下、手引き)」の更新作業を進めています。

「Newsletter No.50」でも紹介しましたが、今回の手引きの更新の主旨は、各国の河川再生に関する歴史・背景や、具体的な課題、対策を手引きに組みこむことで、各国の河川再生の多様な特徴やそれらの違いの認識共有に資することとしています。

【主な手引き更新内容】

- 河川環境改善に関する背景・経緯、課題及び対策をわかりやすく示した具体例を組み込む。
- 河川再生の参考となる情報源(ウェブサイト)をリスト形式で整理する。

具体的には、河川環境改善に関する多様な課題の中から、①水環境(水質・水量)、②河川空間の親水性、③川の自然環境の3つのテーマに焦点を当て、日本、中国、韓国それぞれで具体事例に基づく原稿を作成しています。例えば、日本の事例では、①水環境(水質・水量)に関する課題として「水質汚濁」や「河川流量の減少」、②河川空間の親水性に関する課題として「市

民の憩いの場としての親水空間の消失」や「良好な河川景観の喪失」、③川の自然環境に関する課題として「川の攪乱や自然環境の多様性の低下」、「縦横断方向の連続性の消失」などを取り上げました。



本手引きで取り上げる河川環境改善に関する課題

JRRNの原稿案は概ね完成しており、CRRN及びKRRNが作成する原稿案との調整段階に入っています。「手引き」の作業状況については、今後もJRRNニュースレター等で継続的にご紹介させていただきます。

(JRRN事務局 後藤勝洋)

「アジアに適應した河川環境再生の手引き ver.2」目次

1. はじめに ※Ver.2として追加・修正する項目を赤字で特出して表記
 2. 川の本質を知るために大切な視点
 3. 河川環境を再生する際の留意点
 - (1) 川の自然・歴史・文化に配慮した河川環境の課題を明らかにし、再生目標を設定する
 - (a) 水環境(水質・水量)に関する課題
 - (b) 河川空間の親水性に関する課題
 - (c) 川の自然環境に関する課題
 4. 良好な河川環境を再生するための方策
 - (5) 健全な水質と水量の確保
 - (a) 中国における対策
 - (b) 韓国における対策
 - (c) 日本における対策
 - (6) 賑わいのある水辺空間・親水空間の形成
 - (a) 中国における対策
 - (b) 韓国における対策
 - (c) 日本における対策
 - (7) 川が本来持つ自然環境の再生
 - (a) 中国における対策
 - (b) 韓国における対策
 - (c) 日本における対策
 5. 河川環境を再生した取り組み
 - (1) 中国における河川再生事例
 - (2) 韓国における河川再生事例
 - (3) 日本における河川再生事例
- 付録 1. 河川環境再生のための方策体系表(案) 付録 2. 河川再生情報源一覧

会議・イベント案内（2011年10月以降）

（JRRN/ARRN 主催・共催の会議・イベント）

■ARRN「第8回水辺・流域再生に関わる国際フォーラム」の開催！

本年度で8回目を迎えるARRN国際フォーラムは、2011年11月11日（金）午後15:00に東京にて開催致します。

○開催日： 2011年11月11日（金）午後15:00 ○開催場所： 東京大学農学部弥生講堂

なお、本年の国際フォーラムは、河川整備基金の助成を受けて開催します。

※詳しくはこちら→ <http://www.a-rr.net/jp/info/letter/information/2914.html>

（その他の河川再生・河川環境に関する主なイベント）

■アジアの大都市の100年：都市発展と環境変化

○日時：2011年10月1日（土） 14:00～17:00

○主催：地理空間学会、国際協力機構（JICA）

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/2916.html>

■第11回九州「川」のワークショップ in 球磨川

○日時：2011年10月1日（土）～2日（日）

○主催：第11回九州「川」のワークショップ実行委員会

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/2905.html>

■里川文化塾「里川づくりワークショップ」

○日時：2011年10月15日（土） 10:00～17:00

○主催：ミツカン水の文化センター

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/2900.html>

■生物多様性協働フォーラム

○日時：2011年10月17日（月） 15:00～18:00

○主催：兵庫県立人と自然の博物館

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/2901.html>

■第9回 川の自然再生セミナー（P5参照）

○日時：2011年10月19日（水） 13:00～17:40

■第160回 河川文化を語る会（P5参照）

○日時：2011年10月20日（木） 18:00～20:00

■第12回川での福祉・医療と教育の全国大会 in 久留米

○日時：2011年10月21日（金）～23日（日）

○主催：第12回川での福祉・医療と教育の全国大会実行委員会

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/2903.html>

■神田川サミット2011 in 新宿（P5参照）

○日時：2011年10月22日（土） 13:00～

■越後平野の生物多様性保全と再生への取り組み

○日時：2010年10月28日（金）

○主催：応用生態工学会新潟

<http://www.a-rr.net/jp/event/02/2873.html>

■第9回環境研究シンポジウム

○日時：2011年11月8日（火） 12:00～17:30

○主催：環境研究機関連絡会

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/2918.html>

■第161回河川文化を語る会（P5参照）

○日時：2011年11月22日（火） 18:30～20:30

■東北の川ワークショップ流域交流 in 北上川2

○日時：2011年12月10日（土）～11日（日）

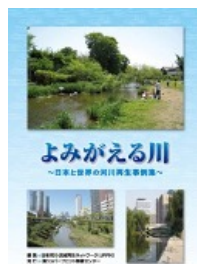
○主催：NPO法人 水・環境ネット東北

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/2906.html>

冊子・ビデオ等の紹介

■よみがえる川～日本と世界の河川再生事例集～ （2011.4 発刊）

- ・編集：日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）
- ・発行：（財）リバーフロント整備センター
- ・価格：無料



※本冊子の入手方法

本事例集をご希望の方は、JRRN事務局までご連絡ください。なお、JRRN 会員限定サービスとさせていただきます、送料のみご負担頂いた上で、無料で提供致します。非会員の方は、JRRN 会員登録後にお申込下さい。

info@a-rr.net / 電話：03-6228-3862

■運河と閘門 水の道を支えたテクノロジー （2011.3 発刊）

- ・編・著者：久保田稔、竹村公太郎、三浦裕二、江上和也
- ・発行：日刊建設工業新聞社
- ・価格：無料



本書は、運河・閘門の基礎知識と、北海道から九州まで日本全国の閘門を詳しく紹介しています。

本冊子をご希望される方は、「（財）リバーフロント整備センター企画グループ」までご連絡ください。送料のみご負担頂いた上で、無料で提供致します。

電話：03-6228-3862

会員募集中

■ JRRN の登録資格（団体・個人）

JRRN への登録は、団体・個人を問わず**無料**です。
市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、所属団体や機関を問わず、河川環境の整備・改善に携わるすべての方々のご参加を歓迎いたします。

■ 会員の特典

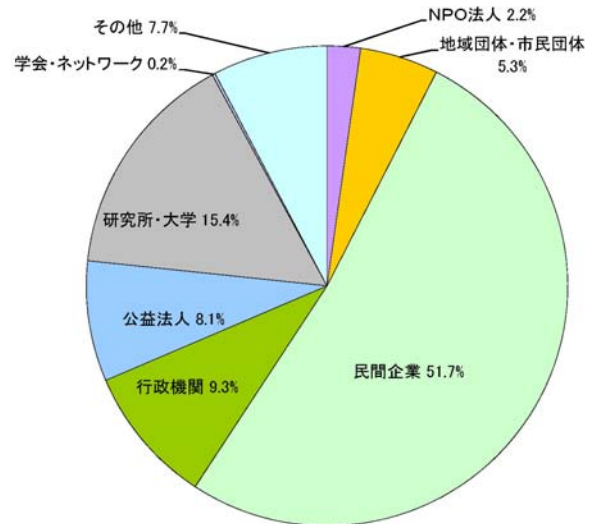
会員登録をされた方々へ、様々な「会員の特典」をご用意しています。

- (1) 国内外の河川環境に関するニュースを集約した「JRRN ニュースメール」が週に1回～2回メール配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参加することが出来ます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援を受けられます。

■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.a-rr.net/jp/info/member.html>



2011年9月30日時点の個人会員構成

(個人会員数：518名、団体会員数：41団体)

JRRN 会員特典一覧表(団体会員・個人会員)

JRRNが提供するサービス		JRRN 団体会員	JRRN 個人会員	非会員 (一般の方)
1	ホームページへのアクセス及び各記事へのコメント入力 ^{※1}	◎	◎	◎
2	ホームページ「イベント情報」欄でのイベント掲載 ^{※2}	◎	◎	◎
3	ニュースメール(週2回)の配信 ^{※3}	◎	◎	×
4	Newsletter(毎月)及び年次報告書(年1回)等の発刊案内メールの配信 ^{※3}	◎	◎	×
5	JRRN/ARRN主催行事の優先案内・優先参加 ^{※4}	◎	◎	×
6	国内外の河川再生関連情報・技術収集や専門家・組織紹介の支援 ^{※5}	◎	◎	×
7	ホームページ「最近の話題・ニュース」及びニュースメール「会員提供情報」欄で団体が関わる行事や出版、技術や製品等の案内の掲載 ^{※6}	◎	△ ^{※7}	×
8	ホームページ「会員登録」「人・組織のつながり」欄及び年次報告書内で団体名の掲載	◎	×	×
9	ARRN活動に関連する英語ニュース(ARRN Newsletter等)の不定期配信 ^{※8}	◎	×	×
10	JRRN及びARRNが保有する国内外専門家・団体等との連携等の支援 ^{※9}	◎	×	×

【発行・問合せ先】

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局
財団法人リバーフロント整備センター 内
〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 新川中央ビル7階
Tel:03-6228-3862 Fax:03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net URL: <http://www.a-rr.net/jp/>

JRRN は、「アジア河川・流域再生ネットワーク構築と活用に関する共同研究」の一環として、(財)リバーフロント整備センターと(株)建設技術研究所国土文化研究所が公益を目的に運営を担っています。

